

滋賀県立高等学校入学者選抜方法等改善協議会 第2回会議 会議概要

日時 令和4年6月1日(水) 14時00分～16時00分
場所 滋賀県庁 北新館5階 5-A会議室
出席委員 会場：若松委員、松浦委員、寺田委員、明吉委員、樋口委員、北村委員、東谷委員、
小南委員、加藤委員、都賀委員、犬井委員、福井委員、炭谷委員、塚本委員
リモート：井手委員、原委員 (出席16名)
欠席委員 馬淵委員、浦島委員 (欠席2名)
県出席者 福永教育長、嬉野教育次長、横井高校教育課長、澤幼小中教育課長、青木保健体育課長、
小林私学・県立大学振興課長、小嶋魅力ある高校づくり推進室長、南野競技力向上対策
室長、白井参事、杉原参事、武原主幹、他関係職員
傍聴者等 傍聴：6名 報道：1社

1 開 会

(1) 委員の解任および委嘱について

年度末の人事異動により杉原委員、白井委員、武原委員、山本委員の解任が報告され、明吉委員、北村委員、東谷委員、犬井委員に対して委嘱状が交付された。任期は令和4年6月1日から令和6年3月31日までとされた。

(2) 新任委員の自己紹介

新委員より自己紹介が行われた。

(3) 副会長の選出

副会長であった杉原委員の解任に伴い、樋口委員を副会長とする会長案が提示され、全会一致で承認された。

(4) 滋賀県立高等学校入学者選抜方法等改善協議会第1回会議の概要について

事務局より資料に基づき説明があり、原案のとおり承認された。

2 協 議

「生徒の優れた点を多面的な観点で評価しつつ、主体的な進路選択を推進する入学者選抜方法等のあり方について」

(1) 第1回会議での意見を踏まえた論点まとめについて

高校教育課長より資料に基づき説明があった。第1回会議で出た意見を整理し、論点を論点①「推薦選抜、スポーツ・文化芸術推薦選抜、特色選抜の現状と課題など」、論点②「一般選抜の現状と課題など」、論点③「入試日程および入試業務など」の3つにまとめた。議論にあたっては、3つの論点の現状や課題を深掘りし、それらを共有したうえで論点に沿って進めることとした。併せて、全国の入学者選抜に関する資料の追加、修正について説明があった。

(2) 論点ごとの協議

論点①について、「主体的な進路選択を推進するため、学校、学科の特色やスクール・ポリシーに応じた選抜」、「特別な支援を必要とする生徒、長期欠席の生徒および日本語指導が必要な生徒について」の2点にポイントを絞り、課題、実態等を踏まえ意見交換を行った。主な意見は次のとおり。

ポイント① 「主体的な進路選択を推進するため、学校、学科の特色やスクール・ポリシーに応じた選抜について」

- (ア) 学校の特色、スクール・ポリシーやアドミッション・ポリシーを受検生へ明確に伝える必要がある。その上で、どのような選抜方法が適切であるかを考えていく必要がある。
- (イ) 受検生が、本当に行きたい高校を見つけ、納得して受検することが大事である。
- (ウ) 各校の特色に応じて、推薦枠の拡大、自己推薦制度の活用、傾斜配点の導入や思考力型入試など選抜方法を多様化することで、受検生の主体的な選択を促すことができる。
- (エ) 中学校の部活動そのものが大きく変わる中で、それをベースにしたスポーツ・文化芸術推薦選抜についても検討が必要である。

ポイント② 「特別な支援を必要とする生徒、長期欠席の生徒および日本語指導が必要な生徒について」

- (ア) 長期欠席の子どもたち、日本語指導が必要な子どもたちなどに対して、入試における配慮は十分であるが、大事なことは、入学してからどのような高校生活を送れるのかであり、選抜方法と入学してからの対応を同時並行で考える必要がある。
- (イ) 個別の指導計画に、受検時に必要な配慮を記載しておくことで、中学校と高校の打ち合わせの簡素化につながり、働き方改革の視点からも有効である。

最後に、若松会長から第3回会議でより議論を深めるため、第3回会議に向けて2点の提案があり、いずれも事務局で対応することとなった。

(提案1)

職業系専門高校、定時制高校における入学者選抜の現状と課題を聞くために、協議会設置要綱第4条の専門委員として、新たに校長を招聘する。職業系専門高校については、瀬田工業高等学校の田中俊夫校長、定時制高校については、大津清陵高等学校の木部浩次校長の2名とする。

(提案2)

現行の入学者選抜制度全般、それぞれの選抜方法について、幅広く意見を聞くために、高等学校関係者（校長、副校長および教頭）、中学校関係者（校長、副校長および教頭）、高校生（1年生）にアンケートを実施することとする。→ 一部修正し、実施することとなった。

(3) 今後のスケジュールについて

若松会長より今後のスケジュールについて一部見直しの提案があり、以下のように見直すことが全会一致で承認された。

- ・第2回と第3回会議の間に、アンケートを実施する。
- ・第3回、第4回会議では、アンケート結果と専門委員等の意見をふまえ、推薦選抜、スポーツ・文化芸術推薦選抜、特色選抜のあり方を掘り下げた後、論点①、論点②、論点③について整理する。
- ・第5回会議に中間報告（案）をまとめる。

(4) その他

特になし。

3 閉会

閉会にあたり、福永教育長から挨拶があった。

次回、第3回協議会の日程については、令和4年8月30日（火）に開催する方向で調整し、委員には改めて連絡することとした。